

青雲

～L・T29のあゆみ～

裏千家淡交会青年部 第29期
リーダーシップ・トレーナー 出向員研修
最終回活動記録



おぼえがき
1日目
平成28年12月2日(金)

12:30 裏千家学園にて受付

13:00 開会式

13:10 総本部講義
「リーダーとは何か」

淡交会副理事長 関口秀治様

14:30 3分間スピーチ

16:20 総本部総評
淡交会総本部 事務局局長 長谷川義翁様

裏千家学園教室・兜門にて 記念撮影

16:30 京都シティホテル チェックイン

17:30 懇親夕食会 ANAクラウンプラザホテル京都

19:00 ホテル一階広間にて全体ミーティング

22:30 解散



第五十五回全国代表者会議 皇茶席会記
平成二十八年十二月三日(土)
於…ANAクラウンプラザ ホテル京都 嵯峨の間

松林豊斎造
阿蘇焼
季のもの
坐忘齋御家元筆扇面 松相見貞心

紅白
肩衝老松釜
青竹
唐銅
高取 鮫鱈
丸茶器 銘星彩 鵬雲齋大宗匠在判箱書 八代中村宗哲造

茶杓
東北ブロックいわき青年部
多賀裕子作 銘根
ナシヨナルコンフレンス
〆〆いわき 茶杓交換交流にて

茶碗
坐忘齋御家元箱書 田原陶兵衛造
栗田焼 色小紋〇△□茶碗
安田浩人造
加藤隆生造
谷村丹後造

蓋置 替
七七茶碗
肥後竹
木地曲
坐忘齋御家元好 風月の白

薄茶 建水
森の香本舗製
梅山製
加藤光右衛門造
谷村丹後造

菓子
ほぼえみ
小雪銀杏

煙草盆
織部
高山竹

灰火吹

12月2日(金) 晴
12月3日(土) 晴

8:30 ANAクラウンプラザ ホテル京都に集合

9:00 呈茶席準備
修了式リハーサル
御家元と記念撮影
昼食

13:50 第55回全国代表者会議
呈茶席担当

14:00 代表者会議傍聴
修了式

14:00 会議場退席
総本部事務局局長兼
組織部部长
長谷川義翁様

呈茶席片付け
解散

お詫び申し上げます

お詫び申し上げます

お詫び申し上げます

最終回研修アンケート

お道具チーム

お道具組に関して、総本部のご意向を伺いつつ、師匠に相談したり、チームのみんなと意見を出し合いながら相談して進めてきた過程で、普段なかなか知る機会のない事も教えて頂き学ぶ事ができました。チームみんなで沢山の意見を交えて話し合ってきた事、きつこれからの青年部活動の支えになると思います。

意見の異なる複数人の考えを一つの方向に集約していく事の難しさを感じました。それ故多くを学ばせて頂いたとも思っています。みんなと議論する中で、お互いの意見を元に、より良いアイデアが生まれ、みんなと力を合わせる事の重要性に改めて気付かされました。ちゃんとして来るようになったら、がんばろう！ではなく、「指導頂けるうちにいろんな事に挑戦しよう」という気持ちで頂きました。想いを聴いて頂いて、最後の10日間で出会わせて頂いたお道具たち、最後まで諦めないでよかったと思います。

点前における所作の意味と同様、どうしてこのお道具が使いたいか、意味合いが大切という事を学びました。

たとえ意見が異なっても、相手を守ることを受け入れようとする寛容な心で大切だな、と思いました。

お道具の知識が足りない、浅い、という事を痛感しました。皆さんの造詣の深さに感心していました。お道具に対する関心が高まりました。

当日皆さんがそれぞれの持ち場でテキパキとご自分の役割に徹している姿に本番前に涙がこみ上げてきました。今振り返ってみると、たくさんお話を聞いて、ギリギリ

全国代表者会議での呈茶を振り返り、チーム毎に感想をまとめました。ご協力ありがとうございました。

で悩んで、それでも妥協せずに12月3日を迎えることができたこと、感謝の気持ちで一杯です。

会場設営チーム

【設営】

準備段階で出た意見を否定することなく前向きに受け止め話し合い、誰かがまとめたり、発言したり、ひっぱったり、常に個々の力を尊重し合えた事で、暖かい雰囲気が生まれ、良い結果を生んだ。

皆の発想力、行動力がとても勉強になった。

他チームの決定待ちが多く、準備期間はままならなかったが、最終準備から前夜の下見、当日のラストスパートはよかったと思う。当日に修正の余裕があったよかった。申酉の色分け折り紙もかわいくて実用的でよかった。

谷村丹後先生に監修をお願いしたご染筆の展示は大変、ご好評を頂きよかったです。男性チームの組み立てがなかったらできなかったので感謝している。

後片付けではメンバーが減ってしまい大変だった。他チームに応援を要請すればよかった。

使い終わった青竹の振り分けをもう少し考えればよかった。

【茶席采配】

経験の少ない方もいたが、慣れたメンバーがサポートしながら、茶席水屋、会場采配がそれぞれ連携し合い、概ね会場が混乱することもなかった。チームメンバー同士の助け合いがとても勉強になった。もっと決断力、統率力、行動力を身につけたい。無事に呈茶が終了し、全国代表者会議に出席された方々にも楽しんで



らえたので安心した。この経験を生かして自分らしいリーダーを目指していきたい。

Special Thanks:
青竹監修
茶筌師 二十代谷村丹後先生

茶菓花チーム

ブロックナイトの時に懐紙について、お褒めの言葉を何人かの方から頂き嬉しかった。

連日の電話会議は大変でしたが、その分たくさん勉強をさせて頂き、茶菓花チームへの愛着も沸いた。

お菓子、菓子器など、もっと早い段階で考えておけばよかった。

一つのお店に頼む時は、やはり時間はかかった方がよかった。最後には素晴らしいお菓子と懐紙になった。

お菓子屋さんや懐紙屋さんなどがとても親切にしてくださった。

電話会議などで意見をぶつけ合い、チームの皆のことをより深く知る事ができた。

総本部としてお呈茶をさせて頂けた事は、二度とない貴重な機会だったと思います。すべてが貴重な経験で、学びの宝庫だったと思います。

何度も案がひっくり返り、期日も迫る中、いつも明るく建設的な話し合いができ、大きな学びでした。青年部でもこんな風に話し合いを進めていこうと思いました。

お菓子、菓子器等、決定した時点でその都度確認しておけばよかった。

当日、お運びをさせていただき、お菓子について何人の方がお聞きくださり、嬉しかったです。

お運びの仕方の細かい所を統一しておらず、当日にぶれたり迷ったりした。

被災地への思いが詰まったお菓子上になった。

総本部が求めている「29期らしさ」の解釈、想いを早い段階で確認しておけばよかった。

終わってから全体を見返してみると、確かに「29期らしい」お席だったと感じました。

お菓子や菓子器などの発注から時間があまり無く緊急で作製してもらった形になり、多くの方に協力してもらった。最初に個別にスケジュールを立て、各項目を決定するようにすればよかった。



展示チーム

準備は基本的には計画通り進行できた。L・T活動一覽表で全体が把握でき、今後の計画を立てやすくなった。

『青雲』を研修の都度作っておいて良かった。研修内容や、学んだ事、感じた事を紹介できた。また、活動報告書と展示とを兼用する方法を、次期L・Tの方が参考に下さった。眞道プロジェクト実行委員の方が、展示に大変喜ばれ、ずっとその前でご覧下さり思い出話をされていた。自分達はこの日に紹介できるスペースがないため嬉しいと仰っていた。積極的に席を勧め誘導できた。展示の説明をする予定だったが、入り口で呈茶会場内とお客様の人数のやりとりで手が離せなくなりました。

ピーク時は若干入り口でお待ち頂いたが、当日は思っていたほどの混雑はなかったように思う。

29期の木は、それぞれお知り合いの方のものを採りつつじっくり見て下さっていた。34名のパーツを合わせ1つのものでできたことがとても良かった。

動画の曲を褒めてくださる方が多かった。「シンガーソングライターがいるの?」と興味津々で聞いてくださった。

水屋お見舞いを予想以上に頂いたが、水屋見舞い帳と裏帳を作成し、付箋を用意しておいたので混乱はなかった。

今年はたくさん作りものができたのでバラエティーに富んだ展示ができた。

L・T内での呈茶風景展示が大変好評だった。

展示と謝辞が繋がって完結した姿となって嬉しかった。

お家元がいらっしゃった時、お席まできちんと誘導できていなかったように思う。

時間がなく、独断で進めてしまった事が多かったかもしれない。もう少し話し合う時間があったら良かった。

二人に負担が集中してしまったり。受付パネルの下敷きにブロックでのL・T壮行会を頂いた古帛紗を初使用した。ブロックの方に喜んで頂き、写真に納めて下さった。

代表副幹事 ご挨拶

御宗家・総本部へ出向させていただき大宗匠さま並びに御家元さまの御心を心として、青年部活動の在り方を学ばせていただいた幸せな一年を、29期34人のうちの一人として皆さまと一緒させていただけましたことに心より感謝申し上げます。

また、昨年はL・T研修で縁を賜った全ての方々より心から心へと直接お伝えいただいた誇りと情熱で、より一層裏千家茶道の魅力に強く惹かれた感動の連続の日々でした。

地元青年部で、そして将来29期からも全国で活躍される方がみえることを夢見ています。同期の皆さまがこれからもお茶を通じてたくさんのご縁に恵まれ、益々活躍されることを心より祈念しております。一年間、本当にありがとうございました。

三重南青年部

石橋 亜矢子



実り多き一年が過ぎ、学び得たことを生かし、皆さま日々活躍の事とお喜び申し上げます。

と、真面目なのは石橋に任せるとして、私は少し親しみやすいご挨拶を。

第六回研修が終わり、寂しくないですか。私は寂しいです。たった一年の研修期間で、こんなにもみんなの存在が大きくなるほどに充実した研修でした。たくさん笑いましたね。悩みましたね。筆を落とした方もいたでしょう。その全てが私達がみつけた宝物。たくさんあり過ぎて整理で

きません！今思い返すだけでも胸が熱くなります。

先日北陸の熱い和菓子屋さんのこんな言葉を教えてもらいました。

「二人で見る夢は夢だけ、みんなで見る夢は現実になる」
私には夢があります。34人がこれからも絆を忘れず、細くともいつまでも繋がって続けられ、細くともいつまでも皆さんの夢の片隅に入れてもらえませんか？ 現実になりたいな♪ というか、勝手に片隅にねじ込むので各自保管お願いします(笑)

最後に、私達を見守り、支え、導いてくださった多くの恩愛に感謝を捧げ、これからも続く29期としての日々(研修を精励していきましよう！ 研修に終わりは無いですもんね♪
みんな大好き！ またね！

東京第四東青年部

加藤まどか

編集後記

おかげさまで活動報告広報誌『青雲』最終号を迎え、発行に至ることができました。毎号、色々とお目に見えませんが、ずっとお見守り下さった大宗匠様、御家元様、発行を許可して下さいました総本部の皆様、そしてご協力下さったL・Tの皆様、共に『青雲』を作って下さった広報委員の皆様、御恩に感謝申し上げます。

『青雲』は、毎回の研修の報告の為でもありましたが代表者会議の展示の様子を伺ったので、展示にも使えないだろうか？と当初から薄らと思っておりました。しかし、実際にできるかまでは、あえて思わなかった。心とまず一号一号をきちんと記録しよう努めておりましたが、広報の皆様のおかげで、毎号予想以上に仕上がり、結果、代表者会議への展示へと繋がりました。私一人で作っていたら、展示までには到底できませんでした。

これから様々な選択に直面する際、『青雲』の経験を通して思い返しながら努めたいと思います。環境を見て、個人的な希望を考え、本当にその方の為になる事なのか考え直しながら一回、一回心を尽くし取り組む。何より、何事も一人ではできない、みんなで作って行くのだと、この研修で学んだ大事な事を忘れず歩んでいきたいと思います。

広報誌作成担当
山梨県青年部 古屋珠美

